



# 2023年度

## 令和5年度新入医局員歓迎会を行いました

2023/4/7（金）千葉大学大学院口腔科学のカンファレンスルームにて、飲食なしで新入医局員の歓迎会を行いました。当教室では例年行っている行事であります。鵜澤教授の歓迎の挨拶から始まり、伊豫田医局長の司会進行で、当教室の歴史や関連病院についての説明がありました。その後に、7名の新入医局員の先生からの趣味などを含めたユニークな自己紹介がありました。直属になる2年目の先生だけでなく、大学院生や文部教官の先生からの質問も多くあり、和やかな雰囲気ですべての先生方が参加しました。各々の先生方の入局後の意気込みも聞くことができ、どのように成長していくのか、期待が高まる会となりました。



鵜澤教授 挨拶



自己紹介と質問タイム

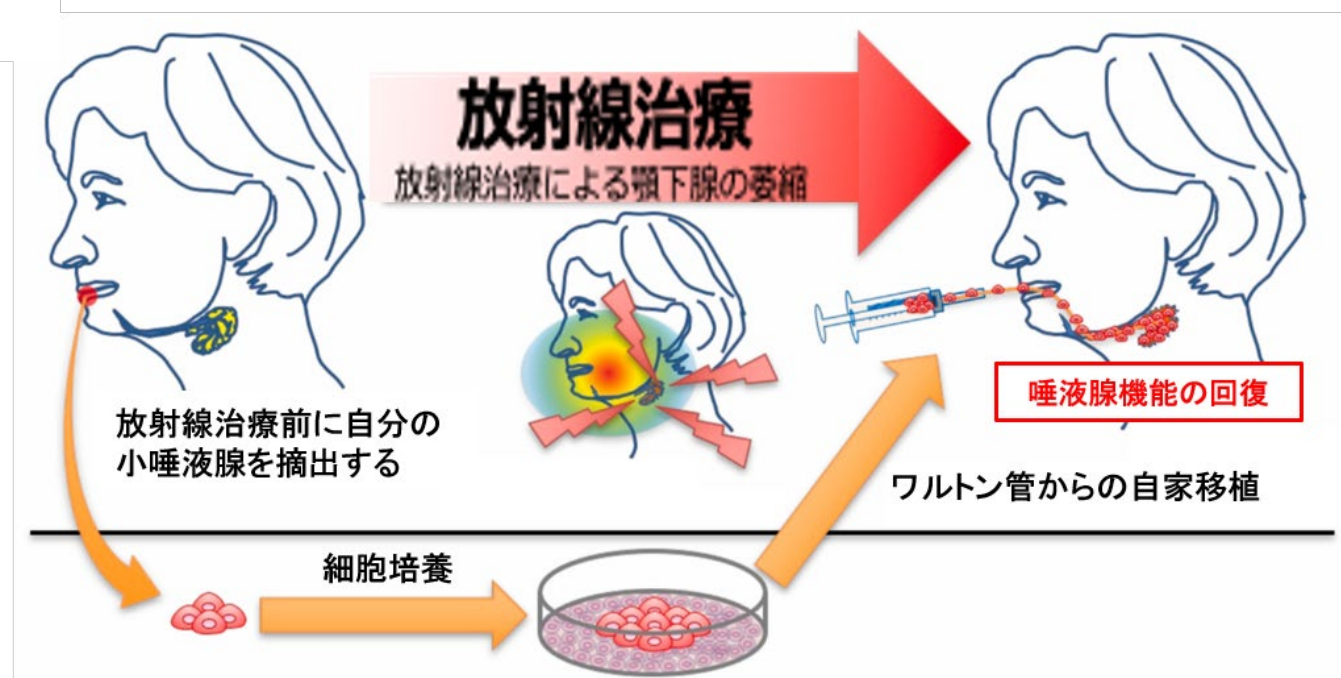




# 2023年度

## 唾液腺機能の再生医療研究がAMEDに採択されました

笠松厚志診療准教授と鶴澤一弘教授の「頭頸部放射線治療で引き起こされる口腔乾燥症に対する自家唾液腺細胞移植法を用いた唾液腺機能再生治療の開発」が、国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）の令和5年度「再生医療実用化研究事業」に採択されました。当講座における唾液腺機能の再生医療研究がさらに活発になり、世界に先駆けて実用化することを目指して邁進するものと思われま





# 2023年度

## 第77回日本口腔科学会学術集会

2023/5/11-13に岡山コンベンションセンターにて開催された第77回日本口腔科学会学術集会におきまして、常泉健太先生が若手優秀ポスター賞を受賞されました。

演題名：オステオカルシン発現組織におけるLysyl Hydroxylase2の機能喪失は骨強度の脆弱性をもたらす





# 2023年度

## 令和5年度入翠会総会が開催されました。

2023/5/21（日）千葉大学医学部歯科口腔外科の同門会(入翠会)の令和5年度総会が、京成ホテルミラマーレにて開催され、90名以上の先生方が御出席いただきました。高原正明会長、鶴澤一弘教授、丹沢秀樹名誉教授から御挨拶をいただき、今年度新入局の研修医の先生方も壇上に立って挨拶を行いました。また、特別講演として同大学の大学院医学研究院耳鼻咽喉科・頭頸部腫瘍学教授の花澤豊行先生に「舌がんの生検、そして経鼻内視鏡下手術」と題して御講演頂きました。貴重なお話を伺うことができ大変勉強になりました。会は盛況のうちに終了し、同門会員が一堂に会する機会に再び恵まれたことを嬉しく思います。御多忙中にもかかわらず御出席いただきました先生方につきましては、この場を借りて御礼申し上げます。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



特別講演 11:30 ~ 12:30 座長：鶴澤一弘 教授  
講師 千葉大学大学院医学研究院先端がん治療学予研究講座  
耳鼻咽喉科・頭頸部腫瘍学  
教授 花澤 豊行 先生

演題  
『舌がんの生検、そして経鼻内視鏡下手術』



# 2023年度

## 第7回国際歯科医療安全機構総会・学術大会

2023/6/4（日）一般社団法人国際歯科医療安全機構第7回総会・学術大会が、日本大学松戸歯学部を会場に現地およびWeb配信のハイブリッド形式にて開催されました。「歯科医療安全最前線 -地域医療から全国へ 全国から世界へ-」のテーマのもと、歯科診療現場における感染対策や放射線医療についてなど様々な講演があり、医療安全に関する講演として、千葉大学歯口科の同門会会長の高原正明先生（現：千葉県歯科医師会会長）は、千葉県歯科医師会の医療管理の各種事業を中心に紹介されました。鶴澤一弘教授は、医科歯科連携を基盤とした大学病院における医療安全の取り組みについて、千葉大学医学部附属病院での取り組みを中心に御講演されました。総会・学術大会の全体を通して、スタッフとの情報共有やコミュニケーションの必要性・医科歯科連携の重要性について再認識することができました。





# 2023年度

## 第5回 千葉大学医学部附属病院 歯科・顎・口腔外科 口腔外科指導医講演会が開催されました

2023/7/21（金）19:00～千葉大学医学部にて、医療法人社団翠希会みどりかわ歯科クリニックの翠川鎮生先生より「GPから口腔外科研修中の先生方に伝えたいこと」と題して、日常臨床の様々な取り組みやフッ化物の応用、モンゴルでの海外支援ボランティア事業についてわかりやすく御講演頂きました。また、先生が大切にされている物事の考え方や捉え方も御教示頂きました。関連病院からも多くの先生が参加され、質疑応答も活発におこなわれました。大変貴重な時間となり、翠川鎮生先生お忙しい中誠にありがとうございました。





# 2023年度

## 第68回日本口腔外科学会総会・学術大会

2023/11/10～12に大阪国際会議場で開催された第68回日本口腔外科学会総会・学術大会にて、笠松 厚志先生が最優秀口演発表賞、野崎 龍之介先生が優秀ポスター発表賞を受賞しました。大変熱心に親身になってご指導頂いた鵜澤教授と笑顔での2ショット撮影ができました。また、学会中は多くの関連病院の先生方や他大学の先生方と交流やディスカッションができ大変有意義な時間となりました。

演題名：マイクロRNAの吸着能を有する新規人工合成環状RNAによる癌進展メカニズムの解明（笠松 厚志）

演題名：LH2が担う創傷治癒における必須の役割（野崎 龍之介）





# 2023年度

## 第6回 千葉大学医学部附属病院 歯科・顎・口腔外科 口腔外科指導医講演会が開催されました

2023/11/17（金）19:00～千葉大学医学部にて、医療法人社団正聖会 宮吉歯科若葉診療所の宮吉正人先生より「最近の歯科界の現状について」と題して、歯科医療に関連した法規の説明や歯科医師連盟の活動についてわかりやすく御講演頂きました。また、宮吉先生が常々大切にされている日常診療の取り組みも御教示頂きました。研修医の先生を含めた質疑応答も活発におこなわれました。大変貴重な時間となり、宮吉正人先生お忙しい中誠にありがとうございました。







# 2023年度

## 2023/11/25 第1492回千葉医学会・第44回歯科口腔外科例会が開催されました

2023/11/25（土）千葉大学大学院薬学研究院・薬学部120周年記念講堂にて、第1492回千葉医学会・第44回歯科口腔外科例会が開催されました。昨年引き続き対面形式の例会が開催され、関連大学・病院の多くの先生方が発表されました。座長や指導医の先生だけでなく、多くの先生方が積極的に発言され、活発な質疑応答がおこなわれました。また、坂下英明先生（日本有病者歯科医療学会理事長・明海大学名誉教授・朝日大学客員教授・医療法人社団聖仁会 我孫子聖仁会病院口腔外科センター長）より「Le Fort I 型骨切り術－歴史の変遷、基本術式とその争点および変法－」と題した特別講演をして頂きました。多くの先生方に御参加をいただき、盛会のうちに終了となりました。例会開催に際しましては、準備・運営に行き届かない点多々あったものと存じますが、多くの先生方のご指導、ならびにご協力頂きました。この場を借りて厚く御礼申し上げます。

**第44回歯科口腔外科例会**  
第1492回 千葉医学会

**特別講演**

**“Le Fort I 型骨切り術”**  
－ 歴史の変遷、基本術式とその争点および変法 －

**坂下 英明 先生**  
日本有病者歯科医療学会理事長  
明海大学名誉教授  
朝日大学客員教授  
医療法人社団 聖仁会  
我孫子聖仁会病院  
口腔外科センター長

日時：2023年11月25日（土）  
12:30～13:30  
場所：千葉大学大学院薬学研究院  
薬学部 120周年記念講堂  
主催：千葉大学大学院医学研究院 口腔科学







# 2023年度

## 2023/12/15 西村勇輝先生の論文が日本口腔腫瘍学会誌に掲載されました

西村 勇輝先生の論文“上顎歯肉に生じたEBV陽性粘膜皮膚潰瘍の1例”が日本口腔腫瘍学会誌第35巻4号に掲載されました。本論文では、口腔内に生じたEBV陽性粘膜皮膚潰瘍に対する治療に関して、文献的考察を加えて報告しております。貴重な症例の報告となっておりますので、ぜひご一読下さい。DOI:  
<https://doi.org/10.5843/jsot.35.123>

## 令和5年度クリニカルアナトミーラボ（CAL）口腔外科実習が行われました

2024/3/2（土）千葉大学医学部1階CAL実習室にてご検体を用いた「口腔顎顔面領域疾患に対する手術手技実習」として、献体の精神に深く感謝をして実習が行われました。





# 2023年度

## 令和5年度医科研修医・歯科研修医・薬剤師レジデント修了式が開催されました

2024年3月15日（水）千葉大学医学部附属病院ガーネットホールにて令和5年度医科研修医・歯科研修医・薬剤師レジデント修了式が開催されました。当科からは、研修医7名が2年間の研修を終了し横手病院長より修了証書が渡されました。その後、薬剤部部長の石井教授や当科科长の鵜澤教授、総合医療教育研修センター長の伊藤教授から祝辞を頂きました。研修修了おめでとうございます。





# 2023年度

## 2024/3/22 笠松厚志先生の論文がCancersに掲載されました

笠松 厚志先生の論文'Synthetic Circular RNA for microRNA-1269a Suppresses Tumor Progression in Oral Squamous Cell Carcinoma'が'Cancers' (IF : 5.2) に掲載されました。本研究では、onco-miRsの一つである「miR-1269a」をスポンジの様に吸着する「circRNA-1269a」を構築しました。さらに、「circRNA-1269a」を導入した細胞は、「miR-1269a」が吸着され、ターゲット遺伝子の一つであるPLCG2の発現が増加し、in vitro で口腔癌細胞のアポトーシスを促進することを示しました。本研究は、人工circRNA が有効な口腔癌治療薬となる可能性があることを示しています。ぜひご一読下さい。  
DOI:<https://doi.org/10.3390/cancers16061242>





# 2023年度

2024/3/22 令和5年度千葉大学大学院修了式・学位記授与式が行われました

2024年3月22日に千葉大学大学院の学位授与式・修了式が行われました。  
当講座からは常泉 健太先生が博士課程を修了しました。

